

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道493号 のねあぐら 野根安倉道路			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局	
起終点	自: こうち あき どうようちうのね 高知県安芸郡東洋町野根 至: こうち あき きたがわむらあぐら 高知県安芸郡北川村安倉					延長	8.5km	
事業概要								
一般国道493号は、高知県高知市を起点とし高知県東洋町までを結ぶ全長約104kmの道路であるが、この大半は一般国道55号との重複区間であり、実質的には奈半利町、北川村、東洋町の3町村を連絡する一般国道55号のバイパス経路として機能している。								
野根安倉道路は、高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道や阿南安芸自動車道及び高知東部自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、南海トラフ地震による津波や豪雨等による土砂災害発生時に国道493号及び国道55号の代わりに地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救急活動のアクセスを確保するとともに、信頼性の高いネットワークを確保することで、地域住民の安全性・利便性の向上や産業・観光振興を支援するものである。								
なお、当事業箇所は急峻な地形、脆弱な地質等の様々な技術的な課題があることを踏まえ、直轄権限代行事業として事業を進めている道路である。								
R2年度事業化			都市計画決定なし		R4年度用地着手		工事未着手	
全体事業費		約525億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約4%		供用済延長 0.0km
計画交通量		3,800台／日						
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)		総費用 (残事業)/(事業全体) 3,729/13,845億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 7,753/14,661億円		基準年
	1.1 (0.5)	4.3%		事業費: 3,329/12,953億円		走行時間短縮便益: 6,723/12,740億円		令和6年
	1.5 (0.7) [2%]	(0.8%)		維持管理費: 347/644億円		走行経費減少便益: 821/1,527億円		
	1.8 (0.9) [1%]			更新費: 54/247億円		交通事故減少便益: 210/394億円		
	(残事業)	(残事業)		感度分析	(事業全体)		(残事業)	
	2.1 (0.5)	10.3%			交通量	B/C=0.98～1.1 (±10%)	交通量	B/C=1.8～2.4 (±10%)
2.9 (0.8) [2%]	(0.9%)		事業費		B/C=1.03～1.1 (±10%)	事業費	B/C=1.9～2.3 (±10%)	
3.4 (1.0) [1%]			事業期間	B/C=1.02～1.1 (±20%)	事業期間	B/C=2.0～2.1 (±20%)		
事業の効果等								
①円滑なモビリティの確保								
・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる								
・高知龍馬空港(第二種空港)へのアクセス向上が見込まれる								
②物流効率化の支援								
・高知港(重要港湾)へのアクセス向上が見込まれる								
・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる								
・総重量25tの車両の規制またはISO規格背高海上コンテナ輸送車の通行規制の解消が見込まれる								
③国土・地域ネットワークの構築								
・地域高規格道路 阿南安芸自動車道の一部を構成する								
・日常活動圏中心都市間を最短時間で連結する路線を構成する								
・現道の大型車のすれ違い困難区間の解消が見込まれる								
・日常生活圏中心都市である安芸市へのアクセス向上が見込まれる								
④個性ある地域の形成								
・高知県東部の主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる								
⑤安全で安心できるくらしの確保								
・高知医療センター(三次医療施設)へのアクセス向上が見込まれる								
⑥災害への備え								
・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる								
・高知県地域防災計画において第1次緊急輸送道路に位置づけられている								

- ・現道である国道493号及び国道55号が浸水等により通行止めになった場合の代替路を形成する
- ・国道493号の防災点検箇所を回避したルートが形成される
- ・国道493号の事前通行規制区間を回避したルートが形成される
- ⑦地球環境の保全
 - ・CO2排出量の削減が見込まれる
- ⑧生活環境の改善・保全
 - ・NOX排出量の削減が見込まれる
 - ・SPM排出量の削減が見込まれる
- ⑨他のプロジェクトとの関係
 - ・四国横断自動車道と一体的に整備することで四国8の字ネットワークの一部を構成する
 - ・「南海トラフ地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

- ・四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会、一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会、徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会などから、本事業の他、徳島JCT～高知JCT間の他事業とあわせ、整備促進に関する積極的な要望活動が続けられている。
- (令和5年度7月、8月、11月、1月、2月、令和6年度5月、7月、8月)

高知県知事の意見

- ・事業継続に異議はありません。
- ・四国8の字ネットワークを構成する阿南安芸自動車道、高知東部自動車道は経済活力が高まる関西圏と県東部地域の時間距離を短縮し、誘客拡大や農林水産物の出荷など、東部地域における経済活性化を支援する重要な道路です。
- ・また、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路である国道55号の代替機能を担い、発生 of 切迫度が高まる南海トラフ地震をはじめ自然災害への備えを高めるうえでも不可欠な道路です。
- ・このため、国においては、早期の開通に向け、資材価格などの高騰も加味した上で、所要額の満額確保に努めていただき、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・令和3年2月 高知東部自動車道(高知JCT～高知南IC)延長6.2km 2車線開通
- ・令和3年3月 四国横断自動車道 阿南四万十線 徳島津田IC～徳島沖洲IC 延長2.4km 2車線開通
- ・令和3年4月 一般国道493号北川道路1工区 延長9.0km 事業化
- ・令和4年3月 四国横断自動車道 阿南四万十線 徳島沖洲IC～徳島JCT 延長4.7km 2車線開通
- ・令和4年4月 一般国道55号奈半利安芸道路(安田～安芸) 延長9.1km 事業化
- ・令和6年4月 一般国道55号奈半利安芸道路(奈半利～安田) 延長4.0km 事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・令和2年度に事業化、用地進捗率約12%、事業進捗率約4%(令和6年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・調査設計、用地買収を推進しており、引き続き、早期供用に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

- ・想定できない事象に起因する事業費増加等においても、今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加え、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

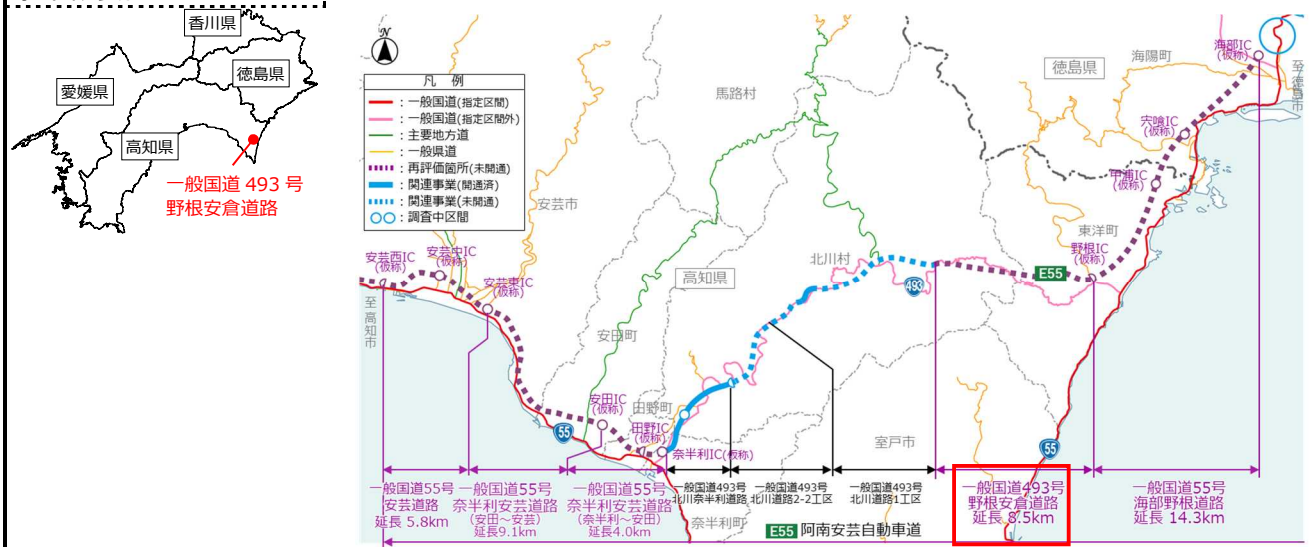
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)